

2024年3月吉日

## 「ジパング 平成を駆け抜けた現代アーティストたち」開催要項

### 【展覧会名】

「ジパング 平成を駆け抜けた現代アーティストたち」

### 【開催趣旨】

平成という時代は、経済力の後退や科学、技術力の衰退という観点から「喪われた30年」と否定的に語られがちな風潮があります。しかしながら一方で、この時代に、ファッションや建築、アニメやマンガ、そして現代アートの分野において素晴らしい作家たちの活躍によって歴史に残る作品が生み出され、世界的な評価を得るという文化的殷賑がみられたことも事実といえるでしょう。

本展は、平成に生まれた日本の現代アートをクロニクル的に捉えた展覧会で、2011年と2012年にミヅマアートギャラリーの三瀧末雄のキュレーションにより開催された「ジパング」展を再編、更に発展させたものです。当該展は、当時、東日本大震災の影響冷めやらぬ中で、そのような状況下だからこそ魅力的な日本の現代アートを伝えることで、作品によって癒され、あるいは活力を得てほしいと企図されたものでした。本展のタイトル「ジパング」は、平成の日本におけるポップカルチャーや現代アートの素晴らしさが、外からの発見を嚆矢に国内でも再認識されてきた、という経緯をふまえつつ、より一層国内の人々に「日本の現代アートがもつ魅力を再発見してほしい」というねらいを含んでいました。

今、わたしたちは「平成」の記憶を抱えながら、新型コロナウイルス感染症のパンデミックによって余儀なくされた社会的変容をはじめ揺れ動き続ける「令和」を生きています。本展では、平成以降、独特の世界観によって世界的な活躍を見せてきた優れた作家たちの代表作を、旧「ジパング」以降一つまり範囲の広範さと被害の甚大さによって、直接間接を問わず極めておおくの人々が傷を受けた東日本大震災の記憶が作品へと込められはじめた後、あるいは令和改元以降に発表された作品も含めて紹介します。そしてそれぞれの作品に滲む時代の姿を通じて、改めて「平成」という時代を回顧するとともに、今まさに生まれつつある「令和」のアートムーヴの展望を試みます。

### 【出品予定作家】

会田誠、池田学、岩崎貴宏、O JUN、塩田千春、宮永愛子、村上隆、山口晃ほか約25名を予定

【会期・会場】佐賀県立美術館 2024年8月24日(土)～10月20日(日)

【主催・共催】主催 佐賀県立美術館

【企画協力】ミヅマアートギャラリー

【お問い合わせ先】※佐賀県立美術館開催分

・佐賀県立美術館 学芸課 主任主査 岩永亜季

〒840-8570 佐賀市城内1-1-59 TEL 0952-24-3947 iwanaga-aki@pref.saga.lg.jp